

漠然としていた志望が 確かなものになる転機となった。

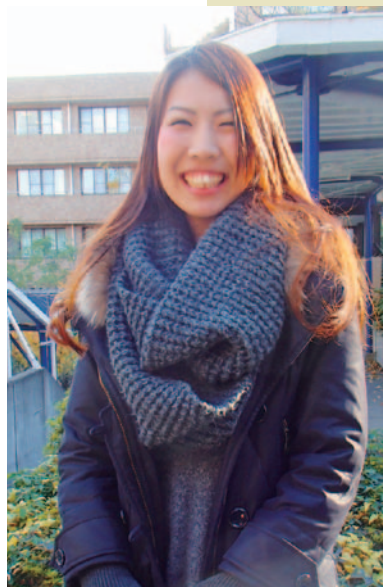
実習先には、以前から興味があった「サービス」に定評のあるザ・リッツ・カールトンを選択。配属先はレストランで、キッチンからフロアのスタッフへ料理を渡す中継役や、ビュッフェの状態をチェックし補充を求める係が私に任された仕事でした。ホテルは華やかなイメージですが、体力を要する仕事でもあり、終業後はぐったりしていましたね。けれど、憧れのホテルでの仕事でしたし、毎日少しずつでも効率的に働けるよう工夫していくことはとても勉強になりました。

また、ザ・リッツらしいサービスに触れたことも幸運でした。あるスタッフが外国人のお客様におすすめのダイビングスポットを訊かれたのですが、詳しくなかったためその場で答

スタッフの視点から

実習で得られる「実感」は、就職活動に大きな影響を与えるのだろうと思います。「興味」がそのまま「志望」へと移行していくこともあれば、思わぬ「発見」が新たな方向を照らしてくれる場合もあるのではないのでしょうか。

担当 絹輪 芽以
(2014年3月卒業)



秋山 美優さん
社会学部 社会学科 4年生(取材時3年生)

インターンシップ

INTERNSHIP INTERVIEW

これまで3年生を対象としていた「インターンシップ基礎／実習」が、2014年度から2年生にも履修可能になりました。また、大学からの紹介企業だけでなく、自分で見つけた実習先への参加も推奨・サポートしていきます。

[interview & text : 絹輪芽以・木下由純]

本年度から
2年生も
受講できる!

自分で見つけた
実習先への
参加もサポート!



山口 凱さん
経済学部 経済学科 4年生(取材時3年生)

早い時期に始めておけば 安心して就職活動を迎えられる。

人と接する仕事に興味を持っていたこと、実家でも利用しているのでも馴染みがあることから、実習先には「コープしが」を選びました。仕事内容は、トラックに詰められた荷物をお客様の家に届けるという一連の配送業務。炎天下の作業は大変でしたが、お客様とのやりとりから元気をもらいながら楽しく働くことができました。

「気づき」を得られたのも大きな成果でした。ひとつは「コミュニケーションの秘訣は、相手の声に耳を傾けること」。もうひとつは「普段からやれていないことは、急にはできない」ということ。このふたつについては、日頃から意識して「過」すようになりましたね。

自分にとっては実習前に行わ

スタッフの視点から

インターンシップに参加するかどうかで、就職活動のあり方も大きく変わるのかもしれないと感じました。まだ、将来就きたい仕事は明確には決まっていますが、悩む前に楽しんで参加してみようと思います!

担当 木下 由純
(経営学部・マーケティング学科 3年)

